

② 令和3・4年度島田洞砂防堰堤工事における安全対策について



坂本土木（株）

令和3・4年度島田洞砂防堰堤工事

工期 自 令和4年 2月22日 ～ 至 令和4年 12月9日



にしむら しょうま
現場代理人 ○西村 彰真
監理技術者 山口 幸治

【キーワード：土石流対策、実習生の安全教育、コロナ対策】

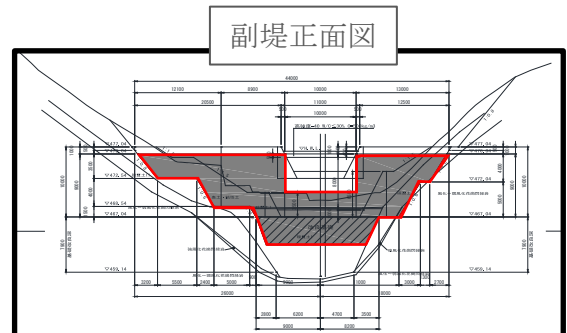
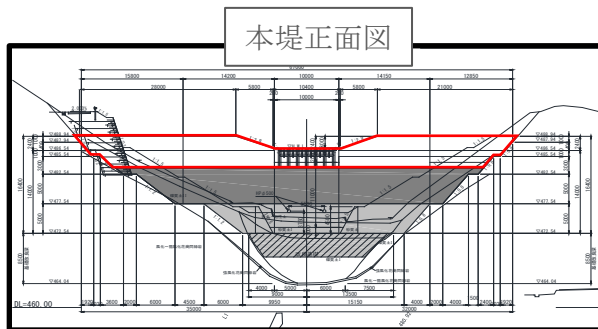
1. はじめに

本工事は飛騨市神岡町夕陽ヶ丘地先において、寺ナギ、島田洞、栃洞の各谷で発生が予想される土石流から地域の暮らしと安全を守り土石流危険渓流から発生土砂の流出を防ぐため砂防堰堤の整備を行っております。

本工事は、3つの谷のうち、島田洞において砂防堰堤を構築する工事です。

2. 工事概要：

砂防土工	1式	構造物撤去工	1式
コンクリート堰堤工	1式	仮設工	1式
鋼製堰堤工	1式		



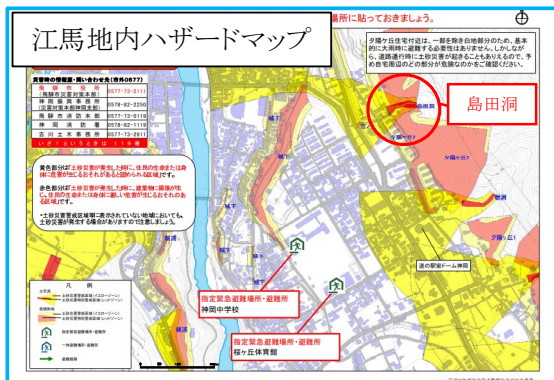
4. 土石流に対する安全対策について

4.1 課題

- ・本工事の施工箇所、島田洞は飛騨市ハザードマップより土砂災害特別警戒区域に指定されている。土砂災害は大雨などによる異常気象時に発生する確率が高いため、現場作業時の気象情報収集からいち早く危険を察知し、作業箇所から安全に避難ができるかが課題になった。

4.2 実施した対策

- ・施工箇所の島田洞堰堤より上流にワイヤー式土石流センサーを設置。
- ・安全教育時は、土石流に対する避難訓練の実施、現場での第1、第2避難場所及び近隣の飛騨市指定避難場所の確認と周知を行った。



4.3 効果

- ・工事期間中は土石流の発生は無かった。避難訓練の際には実際の避難時間を測定し避難までにかかる時間と土石流到達予測を比較、検証し改善を行うことで現場作業員の土石流に対する安全意識向上を図ることができた。また、安全施設等の改善点も見つかり施設面での安全向上を図ることもできた。
- 日々変化する現場状況でも毎月の定期点検で実際に警報装置を鳴らして音が聞こえるか確認を行うことで警報装置を最大限生かせることができたと考えます。

